

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%
保護者様： 20名回答、回答率 90%

職員の意見

○環境・体制整備

法令上は適切だが、体調不良等で急遽職員が欠勤になった場合等には近隣教室から応援スタッフ調整ができない場合がある。

○業務改善

今年度は区から実地検査が入り、その結果を受けて、改善を求める事柄については当然のこと、次回に実地検査や第三者の評価が入った際は前回以上の評価いただけるよう、日々の法令関係の書類点検は徹底している。

○適切な支援の提供

支援開始前のミーティングは可能な限り実施しているが、支援終了後はミーティングという形での実施が出来ていない。集団活動については、日々内容が固定化されないように工夫しながら立案している。

○関係機関や保護者との連携

児童館等との交流や関係機関との連携は実現できていない。しかし、学校行事(体育祭・文化祭・学校公開等)には積極的に参加するようにしている。

○保護者への説明責任等

保護者からの相談や、送迎時・保護者会等により、保護者との連携・意思疎通・信頼関係の構築は出来ている。しかし、地域の「放課後等デイサービス」に関する認知度が低いと感じているので、地域住民を招いた事業運営をする機会を設けた方が良いとの意見も出た。

○非常時等の対応

食物アレルギーやヒヤリハット等、利用者に直接関わる内容については対応はできているが、緊急時・防犯・感染症対応マニュアルや虐待防止の研修等、職員が対応する内容については、十分に周知・実施が出来ていないと感じている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

普段の利用人数と職員の配置数が分からない為、判断ができないといった意見が多数見られた。バリアフリーに関しては、教室周辺を確認したことがない為、判断ができないといった意見やバリアフリーの必要性を感じていないので、あまり気にしていないといった意見も見られた。

○適切な支援の提供

ほとんどの保護者から放課後等デイサービス計画が適切に作成されている、集団活動のプログラムが固定化しないように工夫されているといった感想を頂いている。しかし、児童館や障がいのない子どもとの交流が見られないといった意見が多数あった。

○保護者への説明等

保護者に対して、必要事項についての丁寧な説明や適切な支援、保護者との意思疎通・共通理解がしっかり行われているといった意見をほとんどの保護者から頂いている。保護者会については、会社から定められている回数のみでしか実施が出来ていない為、当日に参加が出来ていない保護者からは保護者同士の連携が支援されているかの判断ができないといった意見が見られた。

○非常時等の対応

大半の保護者からは、緊急時・防災・感染症対応マニュアルの周知や定期的な非常災害に備えた避難訓練や施設での防災体験の実施の報告ができていたといった意見を頂いている。

○満足度

ほとんどの保護者から「満足している」といった感想を頂いているので、おおむね満足度は高いと考えている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ①適正な人員を配置し、利用者の支援の強化に図る。
- ②保護者会を通して、保護者同士の交流ができるような企画を展開する。
- ③学校公開や展覧会等の地域のイベントを通して、保護者や関係機関との交流を深める。

○改善できた点・まだ残る課題

- ①法令で定められた人員配置の下、質の高い利用者の支援を展開することができた。
- ②定期的に保護者会を展開し、また保護者参加型の集団活動を企画することで、保護者同士の交流に図ったが、参加人数が少数ということもあり、十分な保護者交流にまで至っていない。
- ③昨年度と比べて学校公開等の参加はするようにはなったが、日程を把握ができていない等で、結果不参加の形になるといったことが多々見受けられた。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・利用者の個々の能力が高く、差が少ないので、支援がしやすい。
- ・周辺教室や保護者間との連携がしっかり取れている。
- ・利用者に対して支援していく時に必要な基本人員は、しっかり揃っている。
- ・保護者からの満足度が非常に高い。故に利用者が過ごしやすい環境作りがしっかり整えられている。

○改善点

- ・関係機関や学校等との連携・交流する機会が設けられていない。
 - ・支援、課外活動等の振り返りが十分に出来ていない。
 - ・教室内研修が十分に出来ていない。
 - ・利用者に対して虐待防止への意識が低い。
 - ・職員間で緊急時・防犯・感染症等の対応マニュアルの周知が出来ていない。
- この文言のみを見ると、虐待しているのか、対応できていないのではないかと不安になる。「職員間での緊急時・防犯・感染症などの対応マニュアル、虐待防止などの意識の周知徹底」くらいにした方が、まだ軽いか。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ①相談支援等の事業所へ積極的にアプローチをかける。
- ②学校行事(体育祭・文化祭・学校行事等)に積極的に参加して親交を深めていく。
- ③非常勤職員も含めて、緊急時・防犯・感染症等の対応マニュアルの周知を行う。
- ④支援後に振り返りの為のミーティングの場を設ける。
- ⑤教室内研修の機会を設ける。

○1年間で取り組む具体策

- ①相談支援等の事業所へ積極的に連絡を取り合うことを意識して、利用児童の様子の変化等が生じた時も積極的に相談して、必要に応じて事業所へ訪問して共有していく。
- ②各自、年間の学校行事や学校からのイベント等の案内を確認し、教室スタッフの参加の促しをしていく。
- ③教室内研修等の中で、緊急時・防犯・感染症等のマニュアルについて読み合わせを行い、緊急時にスムーズに対応できる体制を作っていく。
- ④帰りの送迎後、支援後の振り返りを職員間で行っていく。また、長期休み後の振り返りは、必ず行うことを徹底していき、支援の質の向上を目指していく。
- ⑤上記③でも記載したように、職員の知識・技術の向上を目的に、月に1回程度、利用者の支援前の時間帯で研修の機会を設けていく。